

評定書

以下のとおり、定期安全管理審査の結果に基づき、定期事業者検査の実施に係る体制について評定する。

| | |
|-------------------|--|
| 申請者 | 四国電力株式会社 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介 |
| 申請日 | 平成29年8月29日(一部変更:平成30年6月1日、平成30年9月26日及び令和元年6月27日) |
| 申請番号 | 原子力発第17182号(一部変更:原子力発第18070号、原子力発第18168号及び原子力発第19110号) |
| 審査を実施した定期事業者検査の範囲 | 伊方発電所第3号機第14保全サイクルにおける定期事業者検査 |
| 審査実施期間 | 平成29年10月3日～令和元年12月25日 |
| 評定の結果 | 当該審査を受けた組織の品質マネジメントシステムは機能しており、定期事業者検査はおおむね自律的かつ適切な実施体制で実施されている。 |
| 審査の結果及び評定の理由 | <p>「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」及び「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に定められた定期事業者検査の実施に係る組織、検査の方法、工程管理、検査に協力した事業者の管理、検査記録の管理及び検査に係る教育訓練に関する事項について審査した結果、別添のとおり当該事項に関する規定類は整備、維持され、これらに従って定期事業者検査が実施されていることを確認した。</p> <p>一方、中国電力株式会社島根原子力発電所第2号機の中央制御室空調換気系ダクトの腐食事象に鑑み、当該設備と同等の設備に対する定期事業者検査が次保全サイクル以降に計画されていること、また、新規制基準の施行に伴い新たに設置された設備に対する定期事業者検査が次保全サイクル以降に計画されていることから、今後の申請者の活動を確認していくこととする。</p> <p>上記の審査の結果について精査した結果、定期事業者検査の実施状況を引き続き確認していく必要があるが、品質マネジメントシステムは機能しており、定期事業者検査はおおむね自律的かつ適切な実施体制で実施されていると判断する。</p> |